

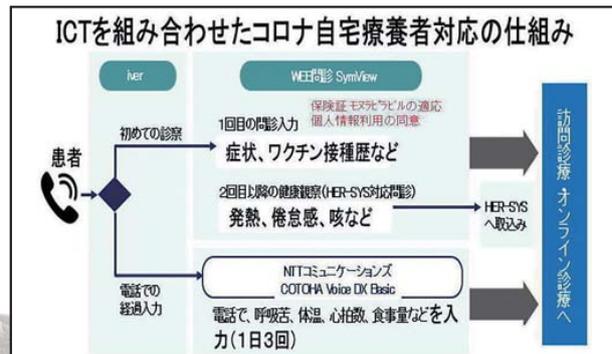
千利狸の呟き

Joseph Alois Schumpeterは現在のチェコであるオーストリア・ハンガリー帝国で1883年生まれのエconomistで、企業者の行う不断のinnovationが経済を変動させるという理論を構築した経済成長の創案者である。またinnovationを「Product innovation」「Process innovation」「Market innovation」「Supply chain innovation」「Organization innovation」に分類し、1つもしくは複数を組み合わせることで「創造的破壊」を起こし経済発展に寄与するとしている。Digital Transformation(以下、DX)という何か新しい技術を創出するというイメージが先行しているが、それは「invention」、つまり発明であり、既知の技術や「innovation」を組み合わせることで構築できる革新を「Omnibus innovation」と定義してみます。日本には古来から「電子メール」「ファックス」「飛脚」等、様々な通信技術があります。今は令和4年ですが、「電子メール」が利用されるようになった平成でいえば「平成34年」、「ファックス」では「昭和97年」、「電話」・「手紙」では明治155年、飛脚では「慶長395年」と時代を超えた技術が今でも使われているようです。Omnibus DXではこれらの技術を組み合わせて新型コロナウイルスへの対応スキームを構築してみました。新型コロナウイルス感染症は通常の外来スキームが「診断」と「治療」にあるのに対し、「診断」「保健所への届出」「健康観察」「治療」と複雑な点が問題となります。最初に重要なのがマンパワーや検査キット等、資源が限られる中で、優先度の高い患者さんを「診断」に結びつけることで、IVR(interactive Voice Response)が威力を発揮します。IVRの自動音声応答システムで振り分けることで陽性率の高い患者を受診につなげ、それ以外の患者を自動音声でお断りすることができます。検査希望の方にはスマートフォンにSNSでURLを送信し、クラウド問診システムから情報を入力頂き、それを参考に検査計画を立てますが、テキストデータで情報を得られるためカルテにはコピーペーストで記載できます。PCR検査(NEAR法にて10分で判定可能)陽性の方には、入力用のクラウド問診システムから得た情報を利用しHER-SYSに登録することで、保健所への届出を行います。基礎疾患のある患者や、ご家族に高齢者や障がいのある小児が含まれる場合は、当院で健康観察を提案します。1日3回の健康観察は患者さんが電話で情報を入力できるNTTコミュニケーションズの「COTOHA」を利用、確認後事務スタッフにHER-SYSへ登録してもらっています。当初はスマートフォンを利用したク

～ Omnibus DX ～

変わらなきゃも変わらなきゃ狸

クラウドサービスを考えていましたが、スマートフォンにも電話機能がついているので、固定電話からでも利用できる「COTOHA」に変更しました。こちらから電話連絡すると、相手方の都合が悪い場合もあり、相手側からの能動的な連絡にすることで、余裕のある時間に連絡できるという利点があり、健康観察の連絡でもトラブルもなくなりました。また問診上で呼吸苦等の緊急性がある場合は携帯電話に強制的に電話がつながるシステムであり、定期報告がない場合は、当院から電話連絡し、オンラインでの診察や緊急往診で対処できるので、第6波で問題となった在宅死の予防対策にもなります。何より日頃使い慣れたデバイスを選択した点が悪かったかと思えます。



そしてまだ1症例ですが、当院で診断後、電子署名とタイムスタンプを押したPDFと医療用SNSを使って診療情報提供書を東京の診療所に送り、遅滞なく健康観察を実施して頂きました。地方での局地的な感染増加があった場合には十分に活用できると考えております。また当院のデータですが、COVID-19PCR検査陽性者30名中、13.3%に後遺症が確認され、そちらのfollow upの重要性も感じております。

新型コロナウイルス感染症の対応では「電話」「ICT」に加え、「手紙」や「手渡し」等、様々な手段を組み合わせ、通常診療の質をできる限り、低下させないように努めました。その中で一番感じたのはやはり「人」の力です。今回は4名の栄養士が、事務対応、健康観察にも従事頂き、感染者の脱水予防や食事量の確認、お子様へのお菓子の提供、何より温かい言葉がストレスの少ない自宅待機期間のひと時のやすらぎになったのではないかと思います。今は、行動制限の解除される、new normalな新型コロナウイルス感染症対策に向けて、Omnibus DXを組み替えているところです。「変わらなきゃも変わらなきゃ！」25年前のイチローのCMが思い出されます。